

財団法人おかやま環境ネットワーク

第8回理事会の報告

- ◇ 開催日時：2002年10月12日（土）14：30～17：00
- ◇ 会場：岡山市奉還町一丁目7-7 オルガ5F スカーレット

△：意見 ⇒意見への回答又は確認事項 ※注釈など

- 1 2001年度上半期の決算報告・会員状況について ⇒確認
 - ・ 収支計算書：
 - 〔収入〕基本財産運用益（半期分）は予算通り、会費収入と事業収入は予算を少し上回っていること。
 - 〔支出〕予算を上回っているのが、事業支出で会議費、管理費で通信交通費となっている。会議費は会議参加者への交通費の支給分、通信交通費は広報に要する郵便物が結構かかっていることによるもの。
 - 〔当期収支〕収入は予算を上回っていること、支出はトータルでは予算内に執行できていることにより、51万円の予算超過で推移している。
 - ・ 会員状況：個人59，団体20，法人122 合計201
- 2 部会報告
 - ① 共同研究検討委員会 ⇒確認
 - ・ 第3回委員会の議事録による報告
 - 「おかやま環境サミット」を開催することで県内のネットワークの役割を發揮する事をメインに、そのあり方と、運営をするネットワークの組織のあり方について論議がなされていること。
 - ・ 次回第4回委員会で、構想の具体化に入る予定であること。
 - ② 環境家計簿運動運営プロジェクト ⇒確認
 - ・ 9月末の登録者が63名で、9月のデータ報告者が35名となったこと。
 - ・ 9月のデータ集計の結果についての概要に説明報告があったこと。
 - ※ データ件数がまちまちなのは？ 水道の件数が少ないのは？ とる項目の設定はどんな論議でしたか？ 等質疑を行った。参加の広がりはずみであること、寄せられるデータがもう少し多くなると集計結果の有効性は十分でないこともあり、今後の取り組みを積極的に進めることで確認。
 - 3 前理事会以降の行事結果について
 - ① エコファミリー講座の参加者の感想文や意見をふまえての反省点を入れた報告。⇒以下の点を含めて確認。
 - （論議の結果確認された内容）
 - ・ 特に親の参加がまだお客さんになっており参加の度合いを強める。
 - ・ バンガローだけでなく、テントの希望者も募り、テントはりの体験も加える。
 - ・ 講師をしていただく方々の事前にミーティングを検討。
 - ・ 「のみみずはどこから」の当初のテーマ設定は貫くべき。
 - ・ 指導者の養成を検討する時期にきている。
 - ・ 富村との関係を含めて、企画そのものについての見直しも必要な時期。次年度に向けて検討。
 - ② 市民環境リーダー養成講座がスタートしたこと。 ⇒確認
 - ③ テーマ別講座 ⇒確認
 - ・ 第2回の「シックハウス症候群」は絞り込まれたテーマで、参加が今ひとつ広がらなかったが、内容はよいものだった。
 - ・ 第3回は、シンポジウムに関連しながら、地球温暖化問題を深めるテーマ設定。
 - ④ 第2回企業環境セミナー ⇒確認
 - ・ 企業の環境マネジメントをテーマに、実践的な内容に踏み込んだの講義設定として準備。
 - ・ 参加企業を最後まで広げるようにさらに取り組む。
 - 4 その他報告
 - ・ 「おかやまの緑と水と空気を守る連絡会」の活動支援費支給の結果報告 ⇒確認
 - 5 11月環境シンポジウム
 - ・ 実行委員会の報告の確認と、準備状況について ⇒ 承認
 - 6 日本環境教育学会の「パートナーシップモデル事業への応募」について
 - ・ 環境省の「パートナーシップ事業」の調査を進めているあおぞら財団の調査を依頼されている日本

- ・ 環境省の「パートナーシップ事業」の調査を進めているあおぞら財団の調査を依頼されている日本

環境教育学会より、ネットワークの活動を調査対象にしたいとの依頼があり協力をしていること。

- ・ その一環で環境家計簿運動、環境シンポジウム、テーマ別講座第3回をそのモデル事業として位置づけ取材をすることになり、環境シンポとテーマ別講座についてはあおぞら財団の共同事業の位置づけを求められていること。
- ⇒ モデル事業とは、あおぞら財団と日本環境教育学会との関係は何か、共同事業とは何かなどの質問や、論議があった。その上で確認。

7 日本冷凍空調学会の市民フォーラムについて ⇒報告提案について論議の結果以下※の点を確認。

- ① 現在の準備の進行状況の報告
- ② (財)おかやま環境ネットワークに講師一人分の交通費と謝礼の費用についての出費要請について
- ※ 共催の形になっているが、企画に協力をすることを確認しているはず。
共催や、費用負担は最初の関わり方のスタンスから予想されておらず、理事会の確認に戻った対応が必要。先方との再調整をすること。

8 「おかやまの緑と水と空気を守る連絡会」からの学習会への活動支援費要請について。⇒以下の論議をふまえて、決定。

- △ 費用の請求の目的が具体的でないが。
- △ 参加者からの負担を求めることなく支援費を要請することについてどう考えるか。
- △ 同じ団体からの複数回申請は可能か。
- ⇒ 支援制度の趣旨は、「年度予算の範囲内で、団体活動を支援する」ことにあり、回数や支給の内容での詳細な基準を設定していない。申請は制度の要件の範囲であり、(財)おかやま環境ネットワークで開催を要請され出来なかった学習をされていることをふまえ、積極的に受け止めて、支給する。

9 (財)おかやま環境ネットワークの今後の中期見通しについて

- ・ 次年度の方針づくりに向けて、事務局の私案としての提示。今後の理事会で検討をしてゆくうえでの資料として、活用を。 ⇒確認

(次回理事会：12月14日(土) 10:00～)

以上

◎同日開催された第5回評議員会の概要

(監事会報告の承認)

2002年度の上半期の決算に関する監査の結果報告が、赤坂監事・小橋監事それぞれよりなされ、承認した。

- ① 監事会報告 9月10日の監事会議事録による(現預金、国債、残高試算表をはじめとする諸帳票を精査し、問題なく処理されている。)
- ② 所見
 - ・ 郵便局の口座で準備会時代のものが残っており、解約するように指摘した。

(理事会報告の承認)

第8回理事会の報告を承認した。内容は上記理事会報告。

以上

次回評議員会：2003年2月15日(土) (10:00～12:00)

